

2021年11月8日

調査室

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 29,000~30,400円 TOPIX 2,005~2,105

\* 期待材料 企業決算の上振れ 経済対策 中国の規制・統制強化政策の緩和 米株価指数の高値更新

\* 不安材料 企業決算の下振れ 原材料価格高騰 インフレの常態化 中国経済の悪化

事前の新聞報道などでは自民党の衆議院議席数が過半数割れとなる懸念が報じられ、選挙前に調整ムードとなった日経平均は、事前予想に反して自民党が絶対安定多数を獲得すると翌日 754.39円高となった。しかし11月4日木曜日の前引け時点では29,792.47円と、総裁選で岸田総理が勝利した日の水準となっており、菅前首相の辞任表明後の高値30,795.78円を依然下回っている。このことから先週の株価上昇は、自民党単独の過半数割れ懸念が払しょくされ買戻しが入ったことが中心であったと想定される。菅前首相の辞任で海外投資家を中心に市場が新総裁に期待したと思われる「変化」や「改革」が岸田政権の経済政策から読み取れず、海外投資家や個人投資家などが成長に対する確信を持っていないと感じていることが高値を下回る主因と思われる。

一方で、11月から資産購入額を減らしていく、いわゆるテーパリングを決定した米国では、企業の好業績が続き、ダウ工業株30種平均、ナスダック100指数、S&P500種株価指数の主要3指数に続き小型株の指標であるラッセル2000種指数も最高値を更新した。4指数が同時に連日で最高値を更新するのは2018年1月以来となる。また10月26日以降下落が続いていた香港ハンセン指数も下げ止まりの動きが見られ、米国や中国市場の安定は日本市場の下支え要因になるとと思われる。今後は、企業決算が焦点となる。米国企業では原材料高の影響を受けるも価格転嫁が進んでおり、市場予想を上回る好業績が続いたことで、指数の最高値更新に繋がった。日本企業のこれまでの決算では、半導体関連企業のように高水準の需要が続き、価格転嫁が進んでいる企業は市場予想を上回る決算を発表している。一方、コロナ感染再拡大によるアジアの工場停止で部材調達難となった企業の業績は下方修正が続いている。また花王に代表される内需の個人消費向け産業については、価格転嫁が進まず通期計画に対する進捗は遅れている。岸田政権による新しい経済対策が市場の期待以上のものとならない場合は、個別企業物色相場が継続すると思われる。(11月4日現在、志田 憲太郎)

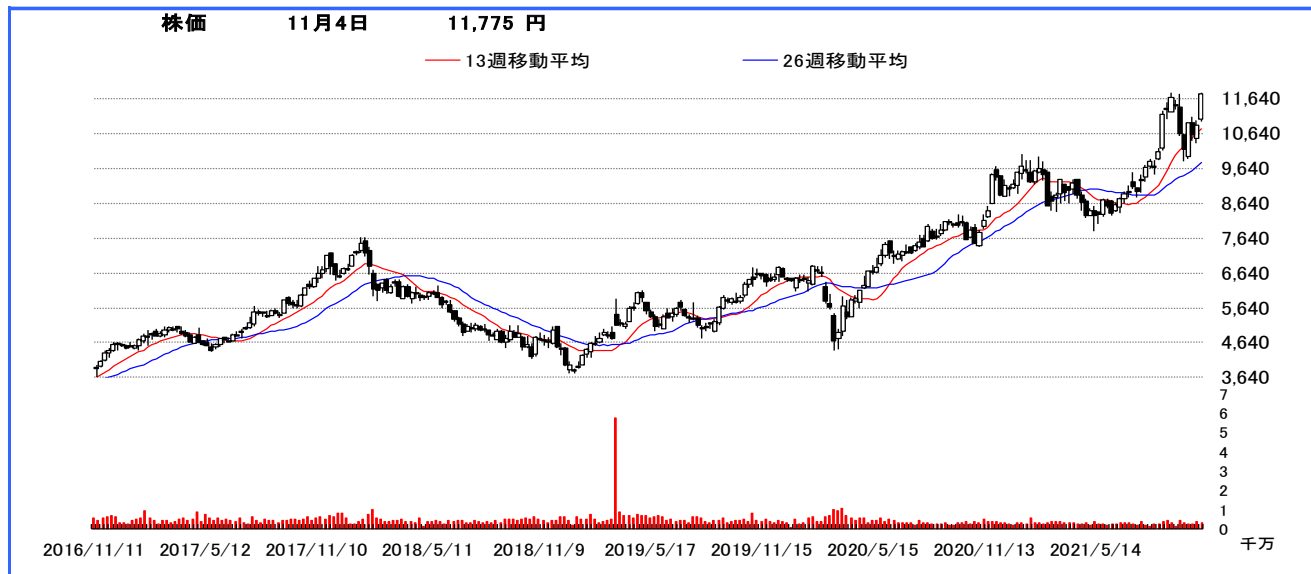
## 今週の予定

	国内	海外
11/8 (月)	10月金融政策決定会合の「主な意見」 ソフトバンクG(9984)2Q決算	[中]中国共産党第19期中央委員会第6回総会(6中総会)(~11日)
9(火)	10月景気ウォッチャー調査(14:00) 出光興産(5019)2Q決算	[欧]11月ZEW景気期待指数(19:00) [米]10月生産者物価指数(22:30)
10(水)	昭和電工(4004)3Q決算 NTT(9432)2Q決算 横浜ロボットワールド2021(~11日)	[中]10月消費者物価指数(10:30) [中]10月生産者物価指数(10:30) [米]10月消費者物価指数(22:30)
11(木)	楽天G(4755)3Q決算 スズキ(7269)2Q決算	[中]独身の日 [米]ベテランズデー(外国為替、債券市場休場)
12(金)	マイナーSQ 日本郵政(6178)2Q決算	[欧]9月鉱工業生産(19:00) [印]10月消費者物価指数(21:00)
13(土)	茨城県民の日	アセアン心臓医学会議(~14日)
14(日)	大相撲九州場所(~28日)	[伊]テニスATPファイナル(~21日)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄 **オムロン (6645)** 東証1部



20年3月期 (百万円)		前年比	21年3月期 (百万円)		前年比	22年3月期(予) (百万円)		前年比	株価(11/4)	11,775 円
売上収益	677,980	-7.5%	655,529	-3.3%	780,000	19.0%	業種	電気機器		
営業利益	54,760	-18.6%	62,480	14.1%	98,000	56.9%	時価総額	24,285 億円		
税引前利益	51,836	-21.4%	65,089	25.6%	94,000	44.4%	PER(予想)	36.20 倍		
当期純利益	74,895	37.9%	43,307	-42.2%	65,500	51.2%	PBR(実績)	3.72 倍		
EPS(円)	365.26		214.72		324.58		ROE(実績)	7.62 %		
配当金(円)	84		84		92		配当利回り(予想)	0.78 %		
							担当	松本 直志		

出所:業績に関する数値は決算短信より

製造現場の自動化に使われるセンサやモータ、ロボット、そしてモータやロボットを制御するコントローラなどを取り扱う制御機器事業、血圧計や体温計などのヘルスケア事業、自動改札機、券売機、太陽光発電システムなどの社会システム事業、リレーやスイッチ、コネクタなどの電子部品事業を展開。20年度の事業部門別売上高構成比は制御機器事業が52.8%、ヘルスケア事業が18.8%、社会システム事業が14.6%、電子部品事業が13.1%、その他が0.7%になっている。

22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比22.6%増収、85.0%営業増益。制御機器を中心にグローバルで需要の拡大を捉え、全事業が社内計画を超過、営業利益は過去最高を更新。制御機器事業は前年同期比29.4%増収。中国、日本を中心にEVや二次電池、半導体、食品・日用品・医薬品などにおける自動化需要がグローバルで拡大。制御機器やロボットなどを組み合わせて、生産ラインの様々な自動化需要を解決するノウハウ「革新アプリケーション」の採用社数増加も業績拡大に貢献。17年度で50個だった「革新アプリケーション」数は、21年度上期時点で230個以上に増加し、幅広い顧客から生産性向上に寄与するとして高い評価を受けている。ヘルスケア事業は前年同期比17.7%増収。オンライン中心に血圧計の販売が増加。需要がグローバルで好調に推移。健康意識の高まりや生活習慣病患者の増加、家庭での血圧測定の浸透などにより、グローバルで血圧計の需要が伸びている。

半導体や樹脂など原材料の調達難、航空便の利用による費用増などがあるが、半導体やEV、二次電池などの自動化投資に対する需要増を見込み通期計画を上方修正。ワクチン普及に伴う経済活動の回復を背景とした設備投資の拡大、「革新アプリケーション」による提案力の強化により、来期に向けて業績は堅調に推移することが見込まれる。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(11/4)	コメント
<b>花王</b> (4452) 東証1部 6,247円	21年12月期3Q累計(1-9月)決算は1.6%増収、9.2%営業減益、4.5%最終減益。国内で衛生用品、化粧品ともに前期特需の反動に加えて、8月の天候不順や新型コロナウイルスの感染再拡大により回復が遅れた。中国、アジアも回復が鈍化した。3Q(7-9月)の化粧品は回復を見込み前期比10%以上の増収が期待されたが日本のマイナスが響き、5.9%増収に留まった。計画に対し各利益の進捗は遅れているが、年末商戦のある4Q(10-12月)で巻き返しを目指す。(志田 憲太郎)
<b>日本製鉄</b> (5401) 東証1部 2,049.5円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比41.1%増収、営業損益は4,284億円の黒字化、最終損益は2,987億円の黒字化だった。併せて通期の見通しを上方修正し、8月発表時に対し3.1%増収の6兆7,000億円、40.5%最終増益の5,200億円とした。中間配当は15円増額の70円。期末配当については未定のまま。抜本的コスト改善効果に加え、紐付きと言われる国内特定事業者への値上げの実行、製品ミックスの改善、海外グループの収益力向上が貢献し、統合後の過去最高益を上乗せした。下期は紐付き価格の是正を更に進める。(志田 憲太郎)
<b>コマツ</b> (6301) 東証1部 3,098円	22年3月期2Q(7-9月)決算は前年同期比28.9%増収、営業利益は2.2倍、1Q比では0.8%減収、20.7%営業増益。中国を除く各国で建設機械、鉱山機械の需要が回復していることに加えて、顧客が保有する鉱山機械の稼働回復により部品・サービス売上も改善しており、利益率向上に寄与している。原材料高の影響が見込まれる一方、円安効果や海外需要の回復を踏まえて通期計画を22.5%増収(従来予想12.8%増収)、68.5%営業増益(同34.5%増益)に上方修正。(多功 毅)
<b>ベйкаレント コンサルティング</b> (6532) 東証1部 53,400円	22年2月期2Q累計(3-8月)決算は前年同期比34.6%増収、76.0%営業増益。AIやビッグデータなどデジタルテクノロジーを活用した経営戦略や業務改革、新サービスに関するコンサルティングのニーズが引き続き旺盛に推移。四半期ごとの売上拡大が継続しており、下期は上期を上回る業績が見込まれるが、コンサルタントの稼働率を保守的に想定していることや、クライアントとの契約が3ヵ月おきの更新になっており受注残がないため、通期計画は据え置き。(松本 直志)
<b>デンソー</b> (6902) 東証1部 8,313円	22年3月期2Q(7-9月)決算は前年同期比6.4%減収、40.8%営業増益、1Q比では9.6%減収、51.4%営業減益。自動車減産の影響を大きく受けた2Qも521億円の営業黒字を確保。通期は自動車減産の影響、原材料価格の上昇を追加的なコスト削減、円安効果などでカバーすることを見込み12.2%増収、営業利益2.8倍計画を据え置いたうえで、前回予想比20円の増配を発表。トヨタの減産が11月で収束することを前提に、計画の達成に自信を示している。(多功 毅)
<b>JBCC HD</b> (9889) 東証1部 1,824円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比8.6%減収、16.1%営業増益。注力する3分野は超高速開発(独自のシステム開発手法で他社に比べて開発期間を半分にできる)が前年同期比52.8%増収、受注は69.8%増、クラウドが50.9%増収、受注は86.0%増、セキュリティが35.3%増収、受注は78.8%増となり、3分野の受注額は過去最高を更新。価値創造型企業への転換を目指しており、売上は減少したが収益性が改善し利益は拡大。受注状況、進捗ともに順調に推移している。(松本 直志)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

## ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室